

第21回日本血液学会関東甲信越地方会幹事会議事録

日時：2025年7月19日(土) 13：40～14：30

会場：ペリエホール 第3会場 (Room C)

出席者：桐戸 敬太（代表）、新井 文子、安藤 美樹、市川 幹、今井 陽一、入内島 裕乃、加藤 元博、川田 浩志、黒川 峰夫、黒羽 高志、堺田 恵美子、鈴木 隆浩、瀧澤 淳、田代 晴子、多林 孝之、富田 直人、中島 秀明、中世古 知昭、萩原 政夫、服部 憲路、半田 寛、福田 隆浩、藤原 慎一郎、南 陽介、三村 尚也、山口 博樹、横田 朗

（以上幹事27名；幹事会は成立）

欠席者：伊豆津 宏二（副代表・第22回会長）、石田 文宏、犬飼 岳史、片岡 圭亮、神田 善伸、熊谷 隆志、康 勝好、酒井 リカ、坂田（柳元）麻実子、瀬尾 幸子、田村 秀人、塚田 信弘、辻村 秀樹、土岐 典子、中沢 洋三、南谷 泰仁、長谷川 雄一、藤澤 信、前田 智也、丸山 大、森 毅彦、矢野 真吾、内田 直之（監事）、長谷川 大輔（監事）

陪席：太平 史織（事務支局）

議事：

1. 前回議事録確認

地方会WEBサイトに掲載済の議事録を参考資料として配布、確認した。

2. 幹事名簿確認

現在の幹事数は3月末で幹事(埼玉県)1名が退任され、51名であり、第87回学術集会時に任期満了の先生が1名(東京都)いらっしゃることに、東京都の幹事は福田隆浩先生が昨年、本会理事ご就任の際に1名増員したことを確認した。

3. 第22回地方会（2025.3）開催について

桐戸代表より伊豆津会長の代理で収支決算の最終報告があった。会期2025年3月22日（土）、会場 ステーションコンファレンス東京（JR東京駅日本橋口直結）現地開催（4会場）で共催セミナー15枠、プログラム抄録集広告3社、企業展示2社、登録演題97題、参加者数は600名となった。後日メールでアンケートを実施し、会

場内での製薬企業の方から会員への声掛けが目立つこと、終了時間（第22回は18：50）が遅い等の意見があった。

4. 第23回地方会（2025.7）開催について

中世古会長より、ペリエホール（JR千葉駅直結）での現地開催で、共催セミナー13枠、プログラム抄録集広告6社、企業展示2社、登録演題57題等の収支予算案の報告があり、参加者数は約560名となった。

5. 第24回地方会（2026.3）開催について

山口会長より、会期2026年3月21日（土）、会場 ステーションコンファレンス東京（JR東京駅日本橋口直結）現地開催予定で、第24回から臨床研究支援の成果報告を予定していること、終了時間が遅くなりすぎないように5会場を予定している旨、説明があった。

6. 第25回地方会（2026.7）開催について

今井会長より、会期2026年7月18日（土）、会場 ライトキューブ宇都宮（JR宇都宮駅直結）現地開催予定である旨、説明があった。

7. 第26回地方会会長（2027.3）について

これまで3月の幹事会で承認を得ていた3月の地方会会長の選出スケジュールを運営委員会で検討のうえ、会場確保等の観点から前倒しの7月の幹事会で承認を得ることとし、黒川幹事より福田隆浩幹事（国立がん研究センター中央病院）の推薦があり、桐戸代表より運営委員会にて選出したことが報告され、一同異議無く承認された。第26回地方会（2027.3）は東京で開催を予定している。

8. 第7回若手教育セミナー（2025.5）開催報告

山口企画委員長より、2025年5月31日（土）、日本医科大学千駄木校舎（現地開催）にて、参加者51名（うちオブザーバー3名）と盛会であり、開催時期を8月から5月に変更し、セミナー終了後に懇親会をケータリングで行ったこと等、最終の収支報告があった。

9. 第8回若手教育セミナー（2026.5）について

山口企画委員長より、第8回についても引き続き日本医科大学千駄木校舎（現地開催）にて、5月の土曜日に開催を予定している旨、説明があった。企画委員の新任

高久智生先生（埼玉医科大学病院）、退任 桐戸敬太先生（代表）は異議無く承認された。

10. 評議員選出における地方会推薦特別枠（女性枠）について

今井幹事ご推薦の中村文美先生（獨協医科大学病院）を、関東甲信越地方会から推薦した旨、報告があった。来年も幹事各位に引き続き推薦をお願いする旨、説明があった。

11. 新幹事補充について

塚崎邦弘先生（埼玉県／2025年3月ご退任）の後任について、本年4月に幹事各位に推薦を募り、埼玉県窓口の田村幹事より関口康宣先生（埼玉県立がんセンター）の推薦を受け、運営委員会で検討した旨、説明があり、異議無く承認された。幹事数の算出表と本年10月の日本血液学会総会後に幹事を定年となる先生（東京都1名）を確認、東京都の幹事は昨年10月幹事会で福田隆浩先生（日本血液学会役員）増員済みのため、追加補充しないことを確認した。

12. 名誉会員について

本年は推薦の該当がないことを確認した。

13. 臨床研究支援について

WG座長の加藤元博幹事（東京大学）より、選考結果の報告があった。4月に募集を開始し、新規15件、継続1件の応募があり、選考会議で審査の結果、継続1件、新規は6件を採択とした。今年度の支援金総額800万円（内訳：新規 1位200万円、2位150万円、3位100万円/3件、6位70万円、継続80万円）で、臨床研究支援の認知が高まり、今年度は質の高い応募課題が多く集まった。次回募集の課題として、課題間の差を明確にする採点方法の検討と、同一施設から複数課題の応募があること、一般病院よりも大学病院やがんセンターからの応募の方が指導体制等から有利ではないかとの指摘が7月の運営委員会であり、当面制限等は設けず、幹事各位に一般病院の勤務医師に周知をお願いする旨、説明があった。2026年3月の第24回地方会より成果の発表を始め、これまで交代の無かった選考委員（運営委員以外）の緩やかな交代を予定している。

14. その他

会場内での製薬企業の方から会員への声掛けが目立つことから、第23回抄録集（参加者へのお知らせ・お願い）に1文を追加したこと、非会員の参加者が全体の6割程度と多いが、非会員の参加費を上げることは見送り、フロア滞留が多く見受けられることから、第23回は運営事務局が会場内に入っていただくよう声掛けをしている。

以上